

第1学年 国語科学習指導案

児童 1年1組 男10名 女14名 計24名

1 単元名 くらべて よもう

教材名 「じどう車くらべ」 (光村図書 1年上)

学習指導要領 第1・2学年<読むこと>

- ・ 目標 「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」
- ・ 主たる指導事項 「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」
＜読(1)イ＞
「語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと」
＜書(1)ウ＞
「語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること。」
＜読(1)ア＞

2 単元について

(1) 児童について

児童が入学して初めて出会った説明文は、「いろいろなくちばし」である。挿絵を手がかりにして、説明文の基本的なパターンである「問い→答え」の文型を学んだ。文と絵や写真を照応させながら書かれている大体の内容について読み取ることができた。また読み取りの後に自分の好きな鳥についての文作りを行い、説明文の簡単な文章構成の学習を経験した。

対話は、各教科や帰りの会において話すモデルを示しながら一文程度の発表から始めて、二文以上話したり聞いたりできる児童も増えてきた。話し手は考えたことやしたことを話し、聞き手は目を見て聞き、聞いたことをそのまま繰り返すことができるようになってきた。

(2) 教材について

本教材は、この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つ、自動車を取り上げた説明文である。説明の仕方は、「話題・問題提起→問題に対する説明」を自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。この文章は、まず前書きの部分で児童の関心をいろいろな自動車に誘っている。そして、それぞれの自動車がどんな「しごと」をしているか、そのためにどんな「つくり」になっているかを読者に問いかけ、疑問や着眼点の芽が読み手の内部に芽吹くようになっていく。次の段落からは、三種類の自動車の説明が「しごと」とそのための「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。条件や理由を表す言葉を用いて表現することにより、いっそう機能と構造の関連を明確にさせることができる。また、身近な自動車という題材を通して、児童の興味・関心を生かし、読書活動に結び付けて調べたり表現したりする活動へも発展できる。これらのことから、本教材は、本単元のねらいを達成するために適した教材と思われる。

(3) 指導に当たって

第1次では、自動車について知っていることを自由に話し合わせ、学習への意欲を高めたい。自動車図鑑を作ることを知らせ、目的意識を持たせて学習を進めたい。また、問いと答えの関係の文章であることに気づかせ、3つの事例を「しごと」と「つくり」について関連付けて読み取っていくということを把握させる。

第2次では、どの自動車も「しごと」と「つくり」について説明していることを確認し、それを読みのねらいとして設定し学習を進めていく。読み取る際には「しごと」と「つくり」にサイドラインを引き書き抜きをして、文章に書かれていることをしっかりと押える。さらに、挿絵や実物を使ったり、経験を話したりすることにより、イメージを膨らませて読み取ることができるようにしていく。

第3次ではまず、はしご車の挿絵を見ながら、教科書の文章を参考にして、全員で考えながら説明する文を書く。そして、自分の好きな自動車を選び、教材文を参考にしながら自動車カードを書く。友達と読み合い相互評価することにより学ぶ意欲を高めたい。

3 指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・ 自動車の仕事と作りについて興味・関心をもって読もうとする。

【書くこと】

- ・ 簡単な組み立てを考えて、好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。

＜書（１）ウ＞

【読むこと】

- ・ 自動車の仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。

＜読（１）イ＞

- ・ 語や文としてのまとまりを考えながら、声に出して読むことができる。

＜読（１）ア＞

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・ 主語と述語との関係に注意して読むことができる。＜伝イ（カ）＞

4 指導計画（9時間） 読む 6時間 書く 3時間

段階	時	学 習 活 動	評 価 規 準
第1次	1	・ 全文を読み、自動車図鑑を作ることを知る。 ・ 新出漢字・片仮名の学習をする。	・ 知っている自動車について進んで発表し、興味を持ち話し合いに参加している。 ＜関・意・態、読（１）ア＞
	2	・ 第1段落を読み、問題提示文に気づき、自動車の仕事と作りについて読み取っていくことを把握する。	・ 問題提起文をとらえ、自動車の仕事と作りについて学習していくことが分かる。 ＜読（１）ア・イ＞
第2次	3	・ バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取る。	・ バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら読み取っている。 ＜読（１）イ＞
	4 本時	・ トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。	・ トラックの「しごと」と「つくり」を結びつけながら読み取っている。＜読（１）イ＞
	5	・ クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。	・ クレーン車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら読み取っている。＜読（１）イ＞
第3次	6	・ はしご車の「しごと」と「つくり」を調べ、説明の文を書く。	・ はしご車の説明文を書くことができる。 ＜書（１）ウ、読（１）イ＞
	7	・ 自分で好きな自動車を選んで、仕事とつくりの分かる文章を書く。	・ 自分で選んだ自動車の仕事とつくりについて興味を持って調べ、下書きを書いている。 ＜書（１）ウ＞
	8	・ 挿絵などを入れ、下書きをカードに清書する。	・ 下書きをもとに、丁寧に清書している。 ＜書（１）ウ＞
	9	・ 友達と交換して読み合い、図鑑にまとめる。 ・ 単元の学習をふりかえる。	・ 友達のカードを「しごと」と「つくり」に気をつけながら読んでいる。＜読（１）イ＞

5 本時の指導

(1) 目標

トラックの「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

(2) 指導に当たって

①対話について

トラックの「つくり」の一つである「ひろいにだい」について、挿絵を活用しながらバスや乗用車のつくりとの違いに気づかせ、自分の考えをもたせる。それを基に対話をさせ、お互いの考えを聞き合って、自分との相違に気づくことにより、一人一人の読みを確かなものにしたい。

②学び合いについて

対話で読み取ったことを全体で交流し、トラックはバスや乗用車と同じように運ぶ仕事をしているが、荷物をたくさん運ぶために広い荷台になっていることを読み取らせたい。その際、トラックのおもちゃや挿絵を荷台と荷物に切り離れた物を使い、より確かに読み取らせたい。

(3) 展開

段階	時間	学習内容と活動 活動（・）主発問（○）	指導上の留意点（・）と評価（◎）
見通す	5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> トラックは、どんなしごとをしていますか。そのために、どんなつくりになっていますか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> バスと乗用車の仕事とつくりを確認する。 絵を見てバスや乗用車と違うところを話し合い、課題を一斉読み、トラックの仕事とつくりを読み取っていくことを確認する。
深める	35分	3 学習範囲を音読する。 4 学習課題を解決する。 (1) トラックの仕事を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> トラックの仕事が書いてある文にサイドラインを引く。 ○ 「にもつ」には、どんな物があるでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> 「はこぶ」について話し合う。 (2) トラックのつくりを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> トラックのつくりが書いてある文にサイドラインを引く。 「うんてんせき」「ひろいにだい」を絵で確かめる。 ○ どうして広い荷台になっているのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> プリントに書く。 対話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉読をして学習範囲を確認する。 前時と同じ文の、「～しごとをしています。」に着目させ、サイドラインを引いたとことを確かめる。 ◎ 仕事について書かれているところに、サイドラインを引いている。 「にもつ」「はこぶ」について挿絵を見ながら言葉の意味を確認し、イメージを膨らませる。 「そのために」に着目させ、つくりが書かれているところに、サイドラインを引かせる。 ◎ つくりが書かれているところに、サイドラインを引いている。 「うんてんせき」「ひろいにだい」について挿絵を見ながら言葉の意味を確認し、イメージを膨らませる。 バスやじょうよう車のつくりとの違いに気づかせ、自分の考えをもたせた後、対話をさせる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T: バスや乗用車には、荷台はありませんでしたね。どうしてトラックは広い荷台になっているのでしょうか。「広い荷台が無いと、」に続けて話してみましよう。</p> <p>A: 私からお話しします。広い荷台がないと、荷物を運ぶことができないからだと思います。</p> <p>B: Aさんは、広い荷台がないと、荷物を運ぶことができないからだと思いますね。ぼくがお話しします。ぼくは、広い荷台がないと、荷物をたくさん運べないからだと思います。</p> <p>A: Bさんは、広い荷台がないと、荷物をたくさん運べないからだと思いますね。ちょっと似ていましたね。</p> <p>B: そうですね。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 進んで対話をしている。 対話で話された事を確認する。 荷物を運ぶ仕事をしているから、それにあった作りになっていることを押さえる。 重い荷物をのせて運ぶこととタイヤがたくさんついていることとの関係を押さえる。
		<ul style="list-style-type: none"> 全体で交流する。 ○ 重い荷物をのせるトラックには、どうしてタイヤがたくさんついているのでしょうか。	

		(3) 課題のまとめをする。 ・まとめを書く。	・ 「しごと」と「つくり」をプリントに書くように指示する。
		トラックは、にもつをはこぶしごとをしています。そのために、ひろいにだいなっています。おもいにもつをのせるトラックには、タイヤがたくさんついています。	
			○ 「しごと」と「つくり」を書いている。
ま と め る	5 分	5 まとめを音読をする。 6 学習を振り返る。 7 次時の学習内容を確認する。	・ 「しごと」と「つくり」を分けて音読する。 ・ 感想を発表し、自己評価を書く。 ・ クレーン車について学習することを知らせる。

< 具体の評価規準と支援 >

A： トラックの仕事とつくりを自分の言葉で書いている。

B： トラックの仕事とつくりを書いている。

C児への支援： 板書やプリントを見せながら、教師と一緒に仕事とつくりを書くことができるように支援する。

(4) 板書計画

